



週報

D2630 郡上長良川ロータリークラブ

Weekly Report, Gujyo nagaragawa Rotary Club

第47期クラブテーマ

地域社会と共に！ ～輝け オンリーワン～

第47期 2024.7 ~ 2025.6

会長：山下 誠
副会長：羽土 洋司
幹事：石徹白秀也



第2179回

令和6年12月11日（水）

例会日：毎週水曜日 18:30 (6月～9月末 19:00)
例会場及び事務所：白鳥町農業指導センター 2F
TEL：0575-82-3822 FAX：0575-82-5191
E-mail:gsc@abelia.ocn.ne.jp 発行：クラブ会報委員会

本日の行事

家族忘年会（チャリティオークション）

2024～25 年度

山下 誠会長

幹事報告

石徹白秀也幹事

* ガバナー事務所より

・会員動静報告についてのお願い

・年末年始休暇 12月26日～1月5日

* 一般財団法人比育国英会バギオ基金より

23年度事業報告書と基金への寄付のお願い

* 美濃RCより グループ内ゴルフ大会写真

拝受

* 週報拝受 美濃、桑名北、郡上八幡R

第2178例会報告

■会長挨拶

2024～25 年度 山下誠会長

皆さん今晚は。水野さん、本日は卓話よろしくお願ひ致します。岩出さん、ようこそお越し下さいました。

先週の郡上八幡ロータリークラブとの合同例会、大変盛況の中で出来ましたこと、心より嬉しく思います。例会の中で、両クラブの歴史を発表して下さいました。八幡ロータリークラブの皆さんも我がクラブも知らない方も見える中で、歴史を大村太郎さんが話していただいた事に対して、感謝申しあげます。

私事ですが、最近うちの周りにカモシカが来ています。昨日も今日も来ています。円空仏を掘って飾っているんですが、それに顔を寄せているので何でだろうとよく見ていると、目の下あたりを円空仏の角でこすっているんです。これからカモシカとの付き合いを考えていきたいと思います。

今日は水野さんの卓話楽しみにしていますので、この後よろしくお願ひ致します。

■外来卓話

郡上市議会議員 水野マリ様

皆様今晚は。水野マリと申します。本日はお招きいただき、本当にありがとうございます。初めての体験で非常に緊張しています。よろしくお願ひします。

簡単な自己紹介を致します。私はシカやイノシシを狩る狩猟がやりたくて4年前に移住してきました。また1年前には選挙の準備をしており、あっという間の1年でした。

私の出身は多治見市で、人口10万人ほどの町で、陶器の町と言われています。多治見市は陶器も作っていますが全国に売っていて商社の町です。窯元と言われている陶器を作るメーカーは山の周辺にあり、笠原町、駄知、土岐、可児市あたりです。陶器は美濃焼と言いますが、美濃焼にも色々な特色があり、その中にスター選手の篠焼という焼き物があります。篠焼の陶片の遺跡が見つかったのは可児市の山で、多治見市ではありません。多治見市の北側に住んでいた一族が私の先祖になります。高度成長期には陶製工場に出稼ぎに多くの人が来ました。70～90年代に入ると、近隣都市、名古屋市や豊田市から人が住み、多い時は13万人くらいまで増えましたが、今は10万人くらいです。

若い時は名古屋でデザイナーやライターの仕事をしていました。仕事をしていたのは80年代くらいで、コピーライターが流行り始めた頃です。電通や博報堂から仕事を回してもらって仕事をしていました。構成作家というテレビの脚本を書いたりもしていて、マスコミ関係の仕事をしていました。得意分野は観光や広報です。今は市議をしていますが、観光系は自分でも得意だなと思っています。もう一つは教育や、ジェンダー系も関心のある分野です。



議員になって初めての一般質問は、教育関係で不登校についてです。2回目は観光で郡上踊りでした。明日明後日と3回目の一般質問がありますが、郡上学についてです。いまのところ、自分は観光か教育関係で活動しています。

今日はどんな話をしたらいいか1日中考えていました。本日、お邪魔した時にこの名前は本名ですか？と聞いてくださった方が見えて、本名ですが2番目の名前になります。

私の事を誤解していたり、知らなかつたり、聞くに聞けなかつたりという人もお見えになるので、自分ではあまり言ってこなかつたのですが、もう少し自分の事を知つてもらった方がいいかと思い、性別の事についてお話ししようと思います。

私は性別を変えている事をカミングアウトしています。知つてゐる人も知らない人もいるかと思います。元々私は男性として生まれ、途中で女性に変えており、法律的に女性になっています。日本には性別を変える法律があります。作った党は自民党と公明党です。私はその事ですごく感謝しています。もしこの法律がなくて、私が性別を変えられなかつたら今の自分はいなかつたかもしれません。

性別を変えるにはいくつかハードルがあります。世界には性別を変える法律がいくつもあります。日本は比較的ハードルが高めに設定されており、厳しいです。最近は厳しすぎるんじやないかといふ事で緩和される動きもあります。要件なのですが、手術をしているかどうか、結婚しているかしていないか、子供がいないかどうか、要するに性別を変えると世の中がややこしくなるので、身ぎれいにして混乱がないような状態で性別を変えてください、という事です。

私は20年近く前にタイでオペをしています。昔日本は性転換手術に関してはトップだったんですが、ある事件で医者が訴えられた事がありました。それがきっかけで誰もやらなくなりました。もう一つは日本で手術をすると保険適用がされないので何百万とお金が掛かります。

昔はおかまと言つていてましたが、今は性同一障害とか、性別不一致、トランスジェンダーといいます。おかまというと、差別用語だという事で怒られます。自分の事を説明するために当事者が言つてるので御了承ください。おかまは日本の言葉ですので、日本の文化を説明するためには必要なんです。トランスジェンダーは北米で出来た言葉ですし、性同一性障害や性別不一致は病名なんです。了解していただいておかまという言葉を使わせていただきます。

おかまには種類があります。LGBTの話なんですが、「性同一性障害とかトランスジェンダーとか言つてもおかまでしょ。」と思うかもしれません、実は種類があるんです。例えば日本人と中国人と韓国人をアジア人として一緒にされても違いますよね。それと似たような事です。向こう側から見ると一緒に見えますが、中から見ると全く違います。簡単に説明すると、女装の人、ホモやゲイの人もみえます。この人たちはそれぞれ違いがあります。その違いを説明するのはとても難しいですが、一点共通点があります。それは基本的に男性のままでです。

女装している人も見えますが、男性の状態で女装すると性的に興奮するとか、気が收まるという事で女装されています。大抵は基本的には男性のままでいたい人達です。要するにこの人たちは同性愛の人たちです。異性愛者だけれど、そういう性癖を持っている、プレイをしたい人達です。

そういう人たちとは別に、性別に違和感を持っている人たちがみえます。この方たちは同性愛や性癖の問題とは少し違います。「自分は生まれてきたのはいいけど、何か違うような気がする。なんだろう。」という感覚を持っている人は、生まれつき一定数いるらしいです。そういう人たちをトランスジェンダーや性別不一致などと言われています。また両方混じっているという人もいれば、そもそも違うんですという人もいて、色んな人が見えます。

自分はどちらかというと、誰を好きになるかという問題になります。男の人が好きなの？女の人が好きなの？という問題になりますが、自分はどちらでもいいです。あまり大きな問題ではなくて、ただ面倒くさいだけです。単に女性が女性の格好をしているので自分もしているだけです。それが目的で性別を変えたわけではなくて、元々性別に違和感を持っていて変えた人になります。

日本には古来からおかまの文化、男娼の文化がありました。例えば戦国時代だと男性のそばに添い寝してくれる若い男性の人がいるとか、芸能人にも戦後から一人や二人は思いつくと思いますが、カルーセル麻紀さんとかが見えます。芸能人にそういう人がいるというのは、世界的には珍しいです。後は歌舞伎のおやまとか、同性愛者とか、職業として男性と寝るとか文化として根付いていました。日本では、おかまとは何だったのかというと、はっきり言えば職業でした。ニューハーフという言葉を皆さんに聞いたことがあるかと思いますが、80年代に出来ました。本来は職業を表す言葉でした。

北米や欧洲はものすごく厳しいです。諸外国は本当に厳しくて、なぜかという一つは宗教の問題があります。キリスト教や、キリスト教にルーツがある宗教は、異性愛しか絶対認めません。同性愛や変な恰好をすると厳罰に処罰されます。実際に法治国家なんですが、法律で動かされているとかという事で、この話をすると日本でも差別あると言いますが、日本の差別とは比べ物にならない

いくらいの弾圧を受けます。殺されたりとか、家を焼かれたりしてしまいます。そういう事で、北米の国賓の公民系運動を知っていると思いますが、その運動で出てきたマイノリティー運動がLGBTです。LGBTは北米やヨーロッパの文化です。もともと日本はそんなことをしなくても初めから受け入れられていたので必要なかったのですが、80年代にものすごくブームになります。リベラリズムの更に新しいバージョンのネオリベラリズムという考え方というのが、若いを中心としたものすごく広がるんです。インターネットの影響もありますが、日本人たちもLGBTの運動をする人たちがワ～っとできました。実は自分もはまっていた時期もあります。今はどうなっているかというと、この問題が行き過ぎて色々な齟齬が出てきているというのが世界の状態です。

例えば自己申告で性別を変更できるという法律を作りましょうとか、自分は女だと思うという気持ちだけで性別を変えませんか、とか、スポーツとかでも顕著に出てきて、どう見ても男性だけでも女性枠で出ているという人を見た事ありませんか。学校ではトランスジェンダーの生徒がいるので、普通の女子がトイレに行けないとか、更衣室に危なくて行けないという問題も起こっています。日本のLGBT法案も結構揉めたと思いますが、大体北米で起きた問題は日本でも数年後には起こっているので、特例法、性別を下げる為の法律ですが、ハードルを下げよというような運動も起きています。

自分は立場、考え方を合わせて紹介しておいた方がいいと思いますので、お伝えしておきたいのですが、自分は若い時は確かに若気の至りでリベラリズムとかLGBTにはまっていた時もありますが、今はジェンダーの問題に対して大体落ち着いてきています。ジェンダーというと、皆さんはどういうものだと考えているのかと思っていますが、ジェンダーは生物学的な性別以外に人間は社会を持って生きているので、文化としての性別みたいなものもあるよね、という話が出てきた社会学の用語です。文化的なルール、女性はこうしましょう、男性はこうしましょうというような規範ルールの集合みたいなものをざっくりとジェンダーと呼んでいます。ジェンダーの問題ですが、私はジェンダーの問題の中の自分流的なものというのは、大事な部分もあるのではないかと思いますし、男らしくありたいとか、女性らしくありたいということ自体は悪ではないのではないかと考えています。ただ苦手な人は苦手のままでいいし、それは個人の自由で、許される世界がいいんじゃないかなと思っています。それとは別に差別の問題というのは、正統上の問題です。例えば分かり易く言うと女性には選挙権はないが、男性にはあるとか昔はそうだったんですが、正統上高低差がついているとか、差がついている問題は、明らかに差別だと言つていいんではないかと思っています。

あともう一つは性転換のハードルなんですが、性転換に関しては一点のハードルが必要だろうというのが私の立場です。本当にどうしたいのか、そういうことも含めて、或いは周りの人たちがどこまでなら納得できるのか、そういうことも含めたうえで、本当に性別をえていいのか、考えてOKを出すというシステムが必要ではないかと考えています。自分の性別の事を踏まえた自己紹介でした。ありがとうございました。

■ニコBOX

ニコBOX委員会 原義明君

郡上八幡RC 岩出様 久しぶりです。よろしくお願ひします。

山下誠君 水野様、ようこそお越し下さいました。卓話よろしくお願ひ致します。岩出君、久しぶりです。

寺田澄男君 水野マリ様、移住されてのご感想、そして議員になられて、その思いなど聞かせてください。楽しみです。岩出君久しぶりです。歓迎致します。

藤代昇君 水野マリ様、今晚は卓話楽しみに聞かせて頂きます。岩出君、久しぶりの例会訪問、歓迎致します。

(同文) 大村太郎君、和田良一君、小島正則君、野島征夫君、石徹白秀也君、原義明君、美谷添里恵子君、畠中知昭君、山口里美君、和田智博君、杉山賢君、奥村照彦君、吉村泰彦君、蓑島正人君

東田陽博君 旭君に言われて12月の例会の司会進行係です。「へま」しないように頑張ります。

佐藤備子君 中学生の職場体験があり、2年生2人が来てくれました。将来は郡上で働きたいと言ってくれました。

鷺見啓兒君 水野様、卓話ありがとうございます。さて先日、熱海署歴代署長会に行ってきました。毎年何人か亡くなっています。自分の順番も近そうです。

■次週行事予定

12月18日 年次総会

12月25日・1月1日 休会

■出席報告

出席委員会 鶩見啓兒君

	会員数	出席者	欠席者	補正者	出席率
2177回	31名	19名	11名	1名	64.5%
2178回	31名	23名	8名		74.19%